

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2011年12月16日

No.12

平成24年3月ダイヤ修正の提案を受ける!

本部は12月15日平成24年3月ダイヤ修正について提案を受けました。

今回のダイヤ修正は、3月11日に発生した「東日本大震災」の影響による輸送体系、瓦礫輸送列車の新設、紙列車のコンテナ化、石油列車の輸送体系見直しが検討されています。しかし貨物労組は、3本柱を基本に東日本大震災からの教訓を活かし安易な要員削減ありきの施策は認めず、安全最優先の職場風土の確立に向けて「安全・ゆとり・健康」が担保される労働条件の確保を目指します。

平成24年3月ダイヤ修正に関する申し入れを行い、組合員の要求解決を目指し交渉を行います。以下、24年3月ダイヤ修正の主な内容は以下の通りです。

《平成24年3月ダイヤ修正の主な内容》

1. コンテナ輸送

- ①「東日本大震災」の影響に伴う輸送体系の見直し
- ②荷主の復旧見込みの不明な部分等について臨時・季節列車化
- ③瓦礫輸送専用列車の新設 東北⇄関東間
- ④富士・吉原・春日井地区の紙列車コンテナ化

2. 車扱列車

- ①石油業界の経営統合業務提携、精製工場の統廃合による発地変更
- ②車扱列車の統廃合

3. その他

- ①トラック活用（ORS化）六原、友部、水戸
- ②駅設備改良（架線増設）南長岡、富士、熊本
- ③入換動車化 西浜松

4. 列車計画の規模

- ①現行と比べ1日あたりの列車キロでコンテナ列車が1,604.8kmの減、車扱列車が4,607.0kmの減で、合計すると6,211.8kmの増となります。
- ②年間の輸送量は、コンテナ列車で2,209.0万トン、車扱列車で909.0万トン、合計で3118.0万トン、対前年比で△14万トンです。

5. ダイヤ修正日 平成24年3月17日（土）

平成24年ダイヤ修正は「経営自立計画」及び「飛躍」に基づき減量経営に傾斜した内容となっています。中央本部は安易な職場の統廃合や要員削減ありきの施策は認めません。また、これまでの懸案事項の①2分乗継の解消。②在宅休養時間・折り返し休養時間の改善。③ORS化導入の根拠。を明らかにしていきます。今後申し入れを提出し要求の前進に向けて団体交渉を取り組みます。

以上